

一般廃棄物処理施設の維持管理に関する計画書

—(ごみ処理施設) (最終処分場)—

1 排ガスの性状、放流水の水質等について周辺地域の環境保全の為に達成することとした数値

(1) 排ガスの性状

性状	ばいじん	—
	硫黄酸化物(K値)	—
	塩化水素	—
	窒素酸化物	—
	一酸化炭素	—
	ダイオキシン類	—

放流水

水質	アルキル水銀化合物	検出されないこと	セレン及びその化合物	0.1mg/L以下
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005mg/L以下	1・4-ジオキサン	0.5mg/L以下
			ほう素及びその化合物	10mg/L以下
	カドミウム及びその化合物	0.03mg/L以下	ふっ素及びその化合物	8mg/L以下
	鉛及びその化合物	0.1mg/L以下	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100mg/L以下
	有機リン化合物	1mg/L以下		
	六価クロム化合物	0.5mg/L以下	水素イオン濃度	5.8以上～8.6以下
	砒素及びその化合物	0.1mg/L以下	生物学的酸素要求量	60mg/L以下
	シアン化合物	1mg/L以下	化学的酸素要求量	90mg/L以下
	ポリ塩化ビフェニル	0.003mg/L以下	浮遊物質	60mg/L以下
	トリクロロエチレン	0.1mg/L以下	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	5mg/L以下
	テトラクロロエチレン	0.1mg/L以下		
	ジクロロメタン	0.2mg/L以下	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	30mg/L以下
	四塩化炭素	0.02mg/L以下		
	1・2-ジクロロエタン	0.04mg/L以下	フェノール類含有量	5mg/L以下
	1・1-ジクロロエチレン	0.2mg/L以下	銅含有量	3mg/L以下
	シス-1・2-ジクロロエチレン	0.4mg/L以下	亜鉛含有量	2mg/L以下
	1・1・1-トリクロロエタン	3mg/L以下	溶解性鉄含有量	10mg/L以下
	1・1・2-トリクロロエタン	0.06mg/L以下	溶解性マンガン含有量	10mg/L以下
	1・3-ジクロロプロペン	0.02mg/L以下	クロム含有量	2mg/L以下
	チウラム	0.06mg/L以下	大腸菌数	平均800CFU/mL以下
	シマジン	0.03mg/L以下	窒素含有量	120mg/L以下
	チオベンカルブ	0.2mg/L以下	燐含有量	16mg/L以下
	ベンゼン	0.1mg/L以下	ダイオキシン類	10pgTEQ/L以下

地 下 水				
水 質	アルキル水銀	検出されないこと	有機リン化合物	1 mg/L以下
	総水銀	0.0005 mg/L以下	ほう素及びその化合物	10 mg/L以下
	カドミウム	0.003 mg/L以下	ふっ素及びその化合物	8 mg/L以下
	鉛	0.01 mg/L以下	アンモニア、アンモニウム化合物、	100 mg/L以下
	六価クロム	0.05 mg/L以下	亜硝酸化合物及び硝酸化合物	
	砒素	0.01 mg/L以下	水素イオン濃度	5.8以上～8.6以下
	全シアン	検出されないこと	生物学的酸素要求量	60 mg/L以下
	ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと	化学的酸素要求量	90 mg/L以下
	トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下	浮遊物質	60 mg/L以下
	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	5 mg/L以下
	ジクロロメタン	0.02 mg/L以下		
	四塩化炭素	0.002 mg/L以下	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	30 mg/L以下
	1・2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下		
	1・1-ジクロロエチレン	0.02 mg/L以下	フェノール類含有量	5 mg/L以下
	1・2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	銅含有量	3 mg/L以下
	1・1・1-トリクロロエタン	1 mg/L以下	亜鉛含有量	2 mg/L以下
	1・1・2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下	溶解性鉄含有量	10 mg/L以下
	1・3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下	溶解性マンガン含有量	10 mg/L以下
	チウラム	0.006 mg/L以下	クロム含有量	2 mg/L以下
	シマジン	0.003 mg/L以下	大腸菌数	平均800 CFU/mL以下
	チオベンカルブ	0.02 mg/L以下	燐含有量	16 mg/L以下
	ベンゼン	0.01 mg/L以下		
	セレン	0.01 mg/L以下		
	1・4-ジオキサン	0.05 mg/L以下		
	クロロエチレン	0.002 mg/L以下		
	塩化物イオン	—		
ダイオキシン類	1 pg TEQ/L以下			

2 測定計画

測定頻度	別表 1 のとおり
測定箇所 (箇所数)	別図 1 のとおり
測定項目	別表 1 のとおり

3 施設の維持管理方法

作業時間	平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分	
受入	受入物の確認	計量時に搬入物の確認を行います。
	計量	計量器により計量します。
投入方法	車両により投入します。	
飛散・流出防止、 悪臭飛散防止及び 地下浸透防止措置	擁壁及びシートパイルで飛散流出防止を図ります。計量時に搬入物の確認を行い、悪臭飛散防止を図ります。埋立地底面の表面にある不透水性粘土層により地下浸透防止を図ります。	
騒音・振動防止 阻 止	作業時において騒音・振動を発生させる機器等の使用はありません。	
害虫防止措置	定期的に除草作業を実施することにより害虫の発生防止を図ります。	
防火措置	消火器の設置及び水処理施設を防火用水として緊急時に利用するなどの防火管理を行います。	
異常時の措置	異常時緊急体制を整えます。	
点 検	実施内容	埋め立てる一般廃棄物の流出を防止する擁壁等の点検
	頻度	毎日
記 録	措 置	擁壁等が損壊するおそれがあると認められる場合には、速やかに回復するための必要な措置を行います。
	記録する項目	毎年、残余の埋立容量を測定し、記録します。 埋め立てた一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量を記録します。 維持管理にあたって行った点検、検査その他の措置を記録します。
	保存方法及び 保存期間	記録簿により埋立廃止するまでの期間保存します。
	閲 覧 方 法	勝竜寺埋立地管理事務所で閲覧できます。

施設稼働時の管理	下段に示す維持管理体制に基づき、廃棄物処理施設技術管理者等を常駐させ、事務分担により施設の適正維持に努めます。 人事配置 技術管理者他担当職員による。
----------	--

維持管理体制	処理責任者	乙訓環境衛生組合 埋立地担当課長
	技術管理者	乙訓環境衛生組合 埋立地担当職員
	管理体制図	<p style="text-align: center;">○施設管理体制図</p> <div style="text-align: center;"></div> <p style="text-align: center;">業務内容は (事務分担は) 組合規則による</p>

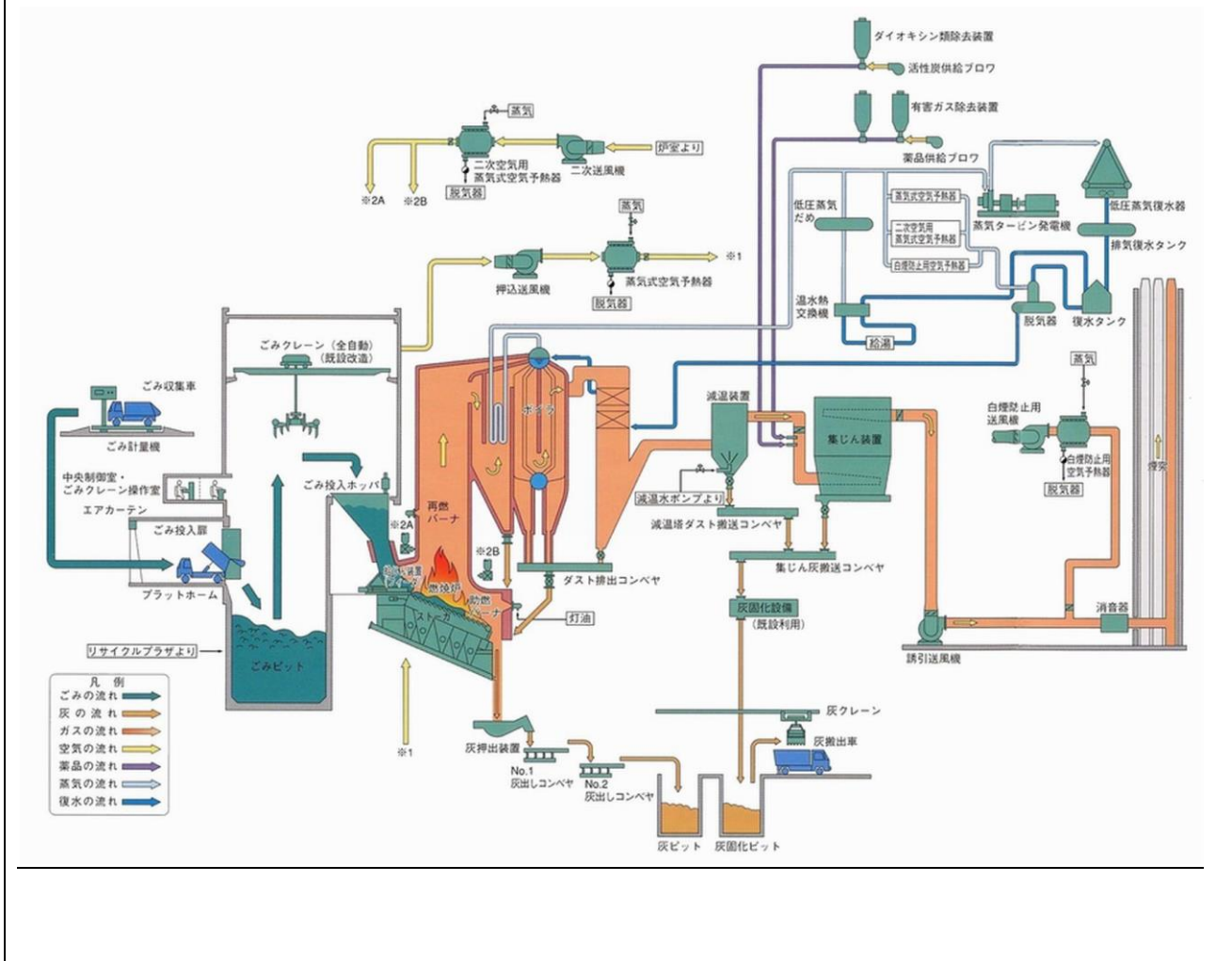
処理しようとする一般廃棄物の性状

一般廃棄物の種類	焼却残灰・不燃物	
1日当たりの量	約20トン	
性状	含水率(汚泥・廃油)	—
	熱しゃく減量(燃え殻)	—
	PH(廃酸、廃アルカリ)	—
	腐敗物の含有	—
有害物質の含有(項目名)	—	

(備考) 分析結果書があれば添付してください。

一般廃棄物の発生工程図

ごみ焼却処理施設(1号炉・2号炉・3号炉)より排出する燃え殻を灰ピット並びに灰固化ピットから積み出す。(焼却施設フローは下記に示す)



一般廃棄物の搬出入の時間及び方法

	搬入される一般廃棄物	搬出する一般廃棄物
一般廃棄物の種類	焼却残灰・不燃物	
搬入・搬出を行うもの	①乙訓環境衛生組合が委託する者 ②向日市、長岡京市、大山崎町及び市町が委託する者	
搬入元又は搬出先（経路図を添付）	別図2・別図3	
搬出・搬入の手段	大型ダンプ等による運搬	
搬出・搬入の時間帯	平日の午前8時30分から午後4時30分	
搬出・搬入の頻度	随時	
その他の事項		

別表1-①

処 理 水			
測 定 項 目	測 定 頻 度	測 定 項 目	測 定 頻 度
アルキル水銀化合物	月1回	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	月1回
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	月1回	フェノール類含有量	月1回
カドミウム及びその化合物	月1回	銅含有量	月1回
鉛及びその化合物	月1回	亜鉛含有量	月1回
有機燐化合物	年1回	溶解性鉄含有量	月1回
六価クロム化合物	年1回	溶解性マンガン含有量	月1回
砒素及びその化合物	月1回	クロム含有量	月1回
シアン化合物	月1回	大腸菌数	月1回
ポリ塩化ビフェニル	年1回	窒素含有量	月1回
トリクロロエチレン	年1回	燐含有量	月1回
テトラクロロエチレン	年1回	ダイオキシン類	年1回
ジクロロメタン	年1回		
四塩化炭素	年1回		
1・2-ジクロロエタン	年1回		
1・1-ジクロロエチレン	年1回		
シス-1・2-ジクロロエチレン	年1回		
1・1・1-トリクロロエタン	年1回		
1・1・2-トリクロロエタン	年1回		
1・3-ジクロロプロペン	年1回		
チウラム	年1回		
シマジン	年1回		
チオベンカルブ	年1回		
ベンゼン	年1回		
セレン及びその化合物	年1回		
1・4-ジオキサン	年1回		
ほう素及びその化合物	年1回		
ふっ素及びその化合物	月1回		
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	年1回		
水素イオン濃度	月1回		
生物化学的酸素要求量	月1回		
化学的酸素要求量	月1回		
浮遊物質	月1回		
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	月1回		

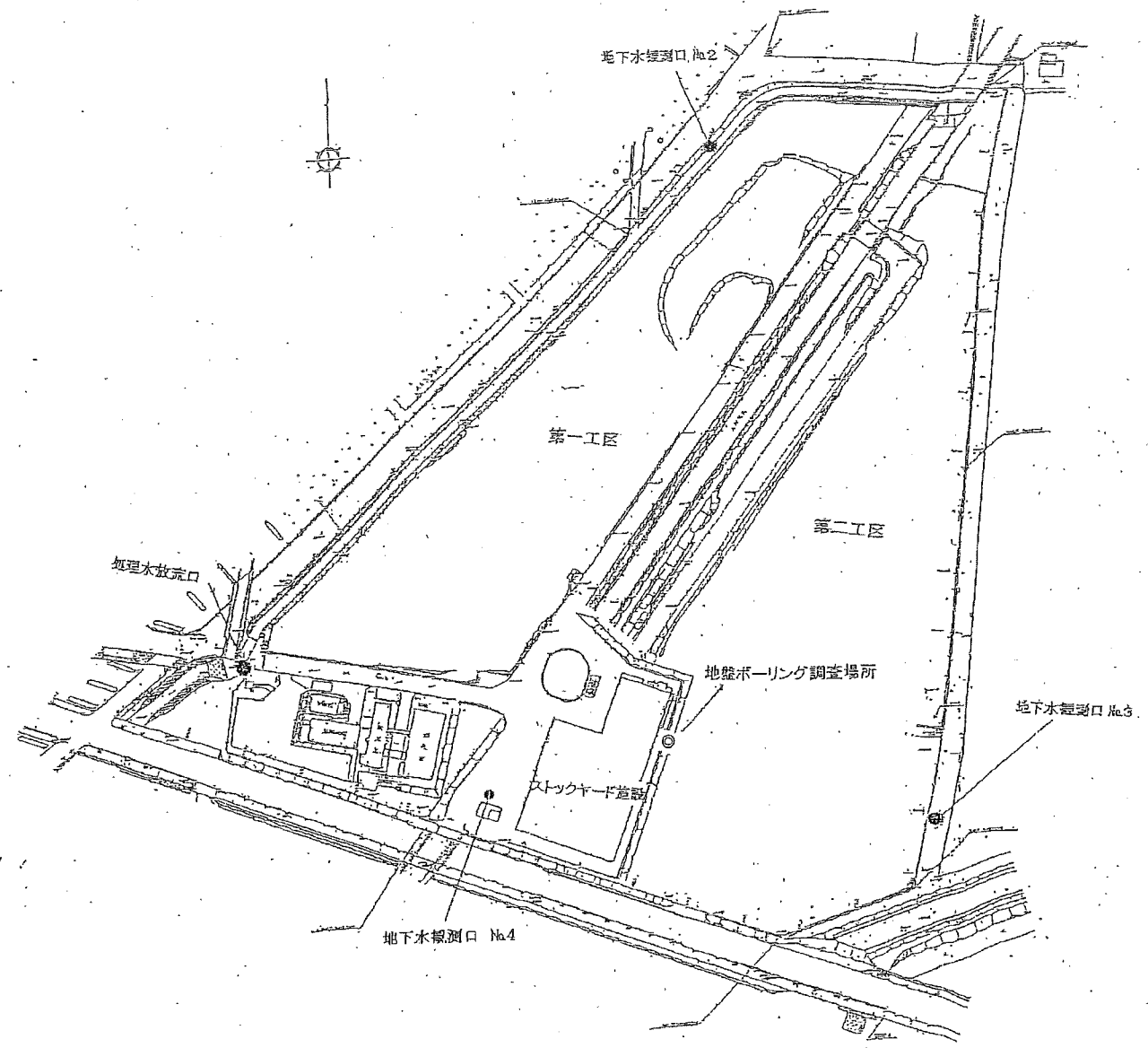
別表1-②

地下水			
測定項目	測定頻度	測定項目	測定頻度
アルキル水銀	年2回	有機燐化合物	年2回
総水銀	年2回	ほう素及びその化合物	年2回
カドミウム	年2回	ふっ素及びその化合物	年2回
鉛	年2回	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	年2回
六価クロム	年2回	水素イオン濃度	年2回
砒素	年2回	生物化学的酸素要求量	年2回
全シアン	年2回	化学的酸素要求量	年2回
ポリ塩化ビフェニル	年2回	浮遊物質	年2回
トリクロロエチレン	年2回	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	年2回
テトラクロロエチレン	年2回	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	年2回
ジクロロメタン	年2回	フェノール類含有量	年2回
四塩化炭素	年2回	銅含有量	年2回
1・2-ジクロロエタン	年2回	亜鉛含有量	年2回
1・1-ジクロロエチレン	年2回	溶解性鉄含有量	年2回
1・2-ジクロロエチレン	年2回	溶解性マンガン含有量	年2回
1・1・1-トリクロロエタン	年2回	クロム含有量	年2回
1・1・2-トリクロロエタン	年2回	大腸菌数	年2回
1・3-ジクロロプロペン	年2回	燐含有量	年2回
チウラム	年2回		
シマジン	年2回		
チオベンカルブ	年2回		
ベンゼン	年2回		
セレン	年2回		
1・4-ジオキサン	年2回		
クロロエチレン	年2回		
塩化物イオン	月1回		
ダイオキシン類	年2回		

別図1

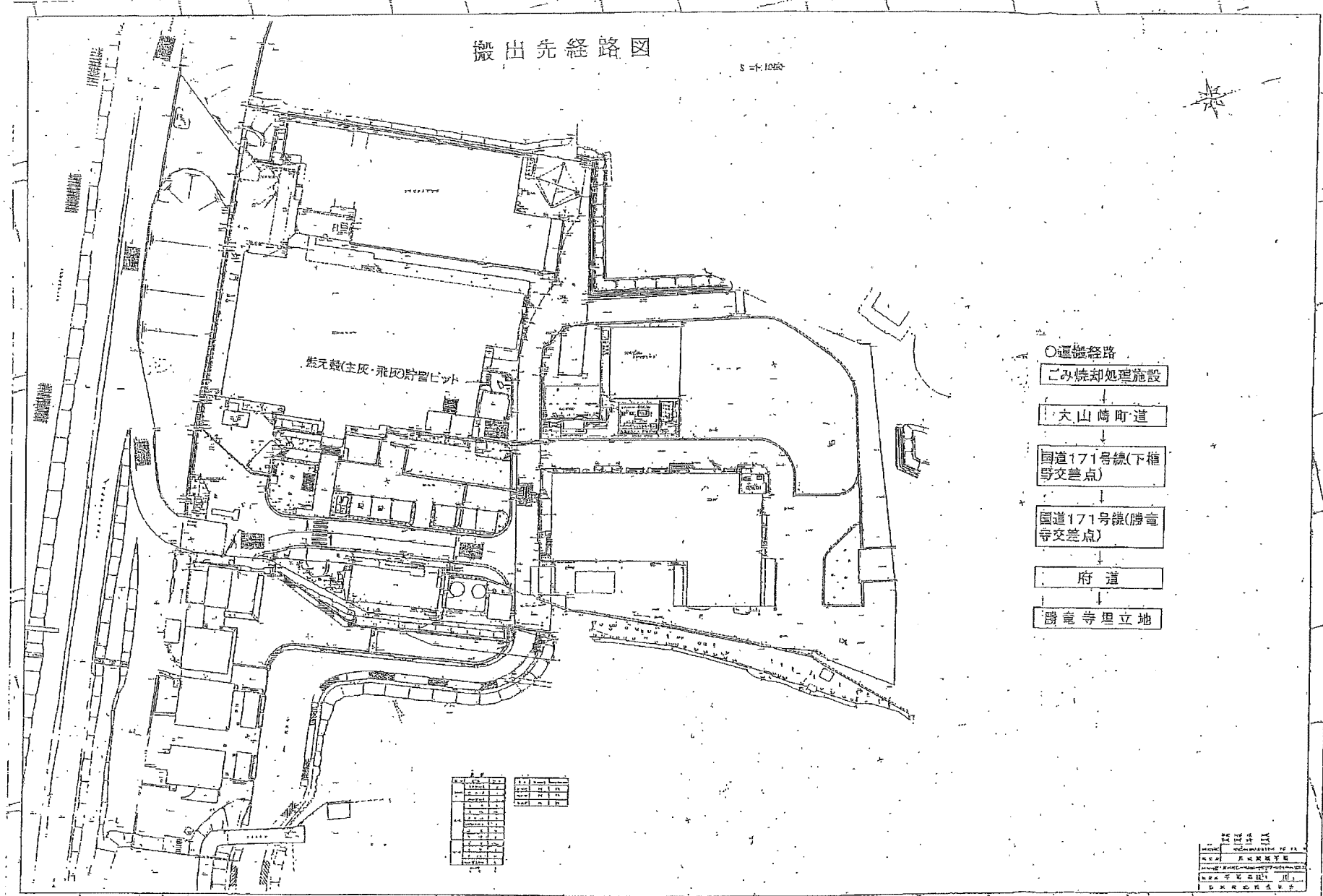
勝龍寺地区現況平面図

縮尺 千分之一



搬出先経路図

5-1020



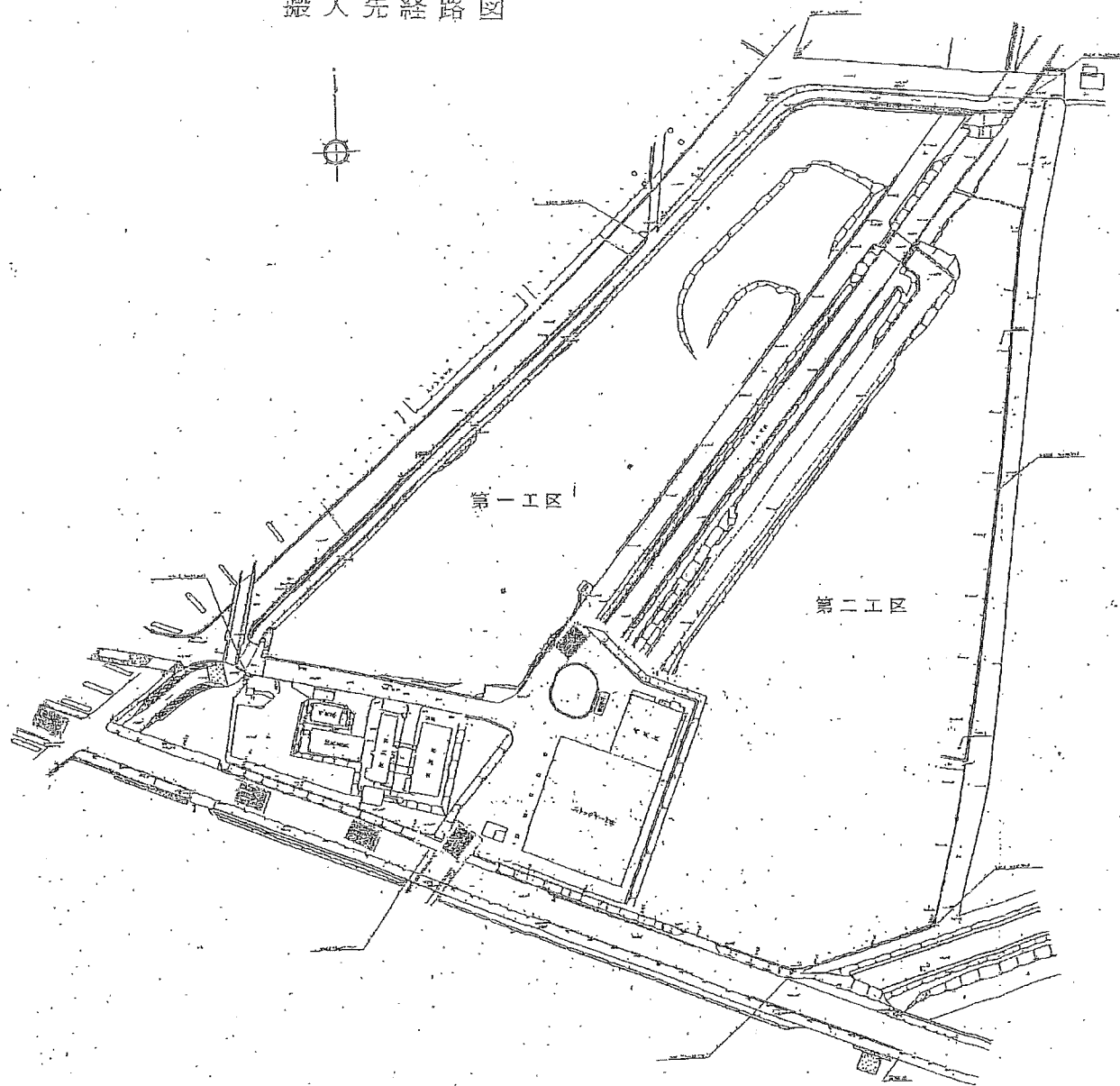
燃元兼(生灰・飛灰)貯留ピット

- 運搬経路
- ↓ 二み焼却処理施設
- ↓ 大山崎町道
- ↓ 国道171号線(下穂野交差点)
- ↓ 国道171号線(勝言寺交差点)
- ↓ 府道
- ↓ 磯章寺埋立地

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

作成 2014.11.14
 校閲 2014.11.14
 設計 2014.11.14
 監理 2014.11.14
 株式会社 〇〇〇〇
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

搬入先経路図



壽壽寺地区現況平面図

縮尺 千分之一

災害防止計画

<p>廃棄物の飛散及び流出防止に関する事項</p>	<p>飛散防止のため即日覆土の実施。 貯留構造物の日常点検及び地震や大雨の際の点検を実施し、損傷のおそれがあると認められた場合には、速やかにこれを防止するために必要な措置を講ずる。</p>
<p>公共の水域及び地下水の汚染防止に関する事項</p>	<p>水質検査の実施。(観測孔は別図1参照) 雨水排水路、遮水工の日常点検及び地震や大雨の際の点検を実施し、損傷のおそれがあると認められた場合には、速やかにこれを防止するために必要な措置を講ずる。</p>
<p>火災の発生防止に関する事項</p>	<p>計量時に搬入物の確認及び計画的な除草、転圧作業により火災発生防止を図ります。</p>
<p>その他最終処分場に係る災害防止に関する事項</p>	<p>災害対策本部を設置し災害防止を図ります。 (別紙災害対策本部組織図参照)</p>

災 害 対 策 本 部 組 織 図

別紙

	状 況	動員内容
第一号動員	風雨、大雨、強風、洪水等の注意報が発令され、施設に災害の発生が予想されるとき。	情報の収集、連絡活動が円滑に行き渡る体制をとる。 第二号動員に移行しうる体制とする。
第二号動員	大雨、暴風雨、洪水、地震等の警報が発令され施設の災害が甚大と予想されるとき、及び廃棄物・浸出水の埋立地外への流出が起こる恐れがあるとき。	情報の収集、連絡活動を行い施設危険個所の応急処置をとる。 全員防災業務に従事する。

